

温故知新 IIN30 年記念行事 『ミネアポリス市民訪問団 Welcome party』

11月9日正午より、福祉文化会館にておよそ100人の出席者を迎えて始まった。前日までに茨木到着されたミネアポリスからの市民訪問団の8人の方々が、にこやかな笑顔で入場。

お名前を紹介しよう。Kevin Reichさん(ミネアポリス市議会議員)、Douglas Spurgeonさん(MISCA元会長)、Daniel Rolfさん(MISCA理事)、Patrick Goodさん(MISCA理事)、Kevin Hanstadさん(Meet Minneapolis)、宮本さん(Meet Minneapolis)、Werner & Maryご夫妻(2012 英語学習ツアーメンバーをお家に招待)。Jim Hoffmanさん。 MISCA会長のKarl Reinhardさんはお仕事の都合で9日夜に来茨。この場にいらっしやらないのが残念だった。



さて、partyに戻ろう。我々の上部団体である茨木市国際親善都市協会会長から、IINへのお祝いの言葉や訪問団への感謝の言葉のご挨拶を頂く。その後には、Kevin ReichさんからBig Surprise が！ミネアポリス市長と、市議会議員の方々よりIINに対して、この30年間の友好的な交流とその努力に対してのCertification(認定証)を授与して下さることに！

IIN委員長は隠せない驚きとともに、この名誉に浴することの誇りとミネアポリス市長と市議会議員の方々に対する感謝でいっぱいの様子。立派な額がIIN委員長に渡されると、大いなる拍手が沸き起こった。我々会員も、両市の友好関係をここまで築いてくださった先輩方に敬意を表しつつ、この喜びを噛みしめたいものである。

市長と、市議会議員全員のサインが入っている本物を例会でじっくりと見せてもらうのが待ち遠しい。

続いての登場は大学生のPatrickさん。良く通る低い声で笑いを交えての若々しいスピーチ。これ以降の一週間、茨木のおば様達から引っ張りだこの人気者になるとは想像していなかったでしょうね。アメリカの23歳は日本の23歳より大人でしたよ。

来賓紹介や協会の役員紹介に続き、協会副会長の発声にて乾杯が行われた。それを皮切りに、一気に解放感と華やいだ雰囲気会場に満ちてくる。テーブルに並ぶ料理に一同舌鼓。特にビーフストロガノフが人気？！



一人、何も喉に通らない会員が・・・次の演目「飛び梅の賦」を舞うNさん。ピンクの衣装を身にまとい、周りの空気に梅の香りを載せて‘梅の精’となる。お酒の賑やかさが少々勝ってしまうも、訪問団の方達はカメラを構えて見入っていた様子。



また、お琴と尺八の演奏は茨木三曲協会の方たち。着物の美しさと凛とした姿勢が往年の日本人の優美さに繋がり、「さくらさくら」がまさにの一曲だった。

実は最後にこちらからもSurpriseが用意されていた。それはスパージョンさんのバースデーケーキ！彼の誕生日が正に今日だったのである。彼の奥様から情報を得た司会者Sが極秘で準備。会場みんなの歌声と共に現れたミニチュアバースデーケーキにスパージョンさんは本当に驚かされていた。一瞬のきょとんとした表情の後、込み上げる笑顔に嬉しさ100%が詰まっっていて、Surpriseのお返しは大成功。会場が再び大きな暖かい拍手に包まれた。



山のような焼きそばもほとんど平らげて、今後の訪問団の皆様の予定を聞き、1時半閉会となった。この後は、訪問団とIINメンバーとで市内散策だとか。

いくつもある日本の切り口をお楽しみください。

行ってらっしゃ〜い！

W.N 記